

編集後記

中部地方会のこと（Ⅰ）昭和34年度の日本泌尿器科学会中部連合地方会は11月1日 和歌山にて行われた。それに就て若干の報告と感想を記してみよう。学会の前日に本会の評議員会が開かれた。実は評議員の範囲が未だ明確ではないので次回にでもこれを決める必要がある。名簿を作る事になつたが、どのような形式にするかに就て、とに角皮科と区別する事になつた。本会が日本泌尿器科学会の中の中部地方会であるのだから、それは当然である。但し同一人で泌科と皮科の両方に属する事のあるのは現段階に於ては致し方なからう。これをどちらか一方に決めるのは無理があらう。然し実際には泌科をやつていないのに単に形式的に泌科にも名前を連らねている如きは賛成出来ない。名簿は泌科だけのものを作つてもよいし、一冊の中に泌科の部と皮科の部を並べてもよからう。中部地方会を泌科と皮科とに明確に分離すべきか否かが議せられた。学会として分けるのはよい、然し運営上にはいろいろ複雑な点があらう。本来ならば泌科専門家と認められる会長の下にて学会を開くべきであるが、中部の現状にてはあまり強く云えない。また会員にもはつきり分れがたい人もある。学会の日時は泌科と皮科とが同じ日か或は連続した日がよく、会場も近い所がよい等の意見が多かつた。

本会の規約に就て討議された。名称は日本泌尿器科学会中部連合地方会と決つた。これでよいが、連合という文字は必ずしも必要ではなからう。少しでも簡潔なのがよければ連合の2字はないのがよからう。学会の目的は、所謂実験的な硬い演題よりも診療に直接関係の深いものという意味を含めるために、主として臨床方面の研究発表及び会員相互の親睦を計るという事になつた。開催は年1回とする。会員は日本泌尿器科学会所属の関西、金沢及び東海各地方会の会員を以てする事になり、この点はすつきりした。会長は現会長の斡旋により評議員会に於て次年度及び次々年度会長を決定する。開催地及び運営は会長に一任する。今後は会費年百円及び会場整理費三百円を徴する事になつた（以下次号に続く）
（昭和35年1月）

購読要項

1. 発行は毎月（年12回）とする。年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間料金 1,000円を前納する。1冊料金100円、払込みは振替口座番号京都 4772番泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店。
3. 入会申込みは氏名（フリガナ）、住所（雑誌郵送先）、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

投稿内規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。寄稿者は年間購読者に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名：誌名、巻数：頁数、年次。
例。中野：泌尿紀要、1：110、昭30。Lazarus, J. A. J. Urol., 45：527, 1941.
5. 300語以内の欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を付け、なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳します。抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受く。
6. 掲載料は4頁迄毎頁500円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈。それ以上は実費を徴収する。この場合には予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は編集者が行方が希望により著者校正とする。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部。